

まちびらきの音

藤森 重紀

相模湾にそそぐ

水の旅は

境川のさまざまな暦

そこに春があるような

蝉時雨をいとおしむような

あの秋の気配がするような

初雪のひとひらのような

せせらぎが届けてやまない

四季のやわらかな光沢

新しいトポスへの

光と風と音の

ときめきのメッセージ

きょう まちびらきを迎え

七つのダイヤモンドから

出会いのドラマがいつも

いくつも紡がれる

みずとみどりの みなみまちだ

みんなが みつめる みらいの

みずみずしい「み」音の連なり

鶴間の街の 明日のかたち